



## 慶應義塾大学ビジネス・スクール

# MEノート(5)

### チャート作成プログラム

#### PORT 1 使用法

##### 《PORT 1の特徴》

PORT 1を用いることにより以下に示すチャートを作成することが出来ます。

- ⇒セクター・チャート
- ⇒シェア・モーメンタム・チャート
- ⇒プロダクト・ポートフォリオ・チャート
- ⇒X-Y チャート

またこれらのチャートを作成する際、市場成長率/マーケット・シェア等のデータが必要となりますが、これらのデータ作成には通常多くの計算が必要となります。従って、PORT 1では直接これらのデータを入力する以外に、表計算ソフトの一つであるVPプランナー或はスーパー・カルク・3で作成されたデータを読み込む機能を備えています。

##### 《PORT 1マニュアルの構成》

当マニュアルは以下の様な構成になっております。

- 1：チャート作成の為の手續概要
- 2：使用するディスク
- 3：VPプランナー或はスーパー・カルクを用いてデータ入力する場合
  - 3-1：VPプランナー /スーパー・カルク3 起動について
  - 3-2：PORT 1用の入力データの作成 (VPプランナー/スーパー・カルク3 共通)
    - 3-2-①：データ保管の形式
  - 3-3：データの保存/V Pプランナー
  - 3-4：データの保存 & 変換/スーパー・カルク・3
    - 3-4-①：データの保管
    - 3-4-②：データの変換
  - 3-5：PORT 1の操作 (VPプランナー/スーパー・カルク3 共通)
- 4：PORT 1に直接データを入力する場合
- 5：資料 (データ形式/チャート・サンプル)



※自動スタート機能を用いない場合には、画面にA>が表示された状態で以下の操作を行ってください。（← はリターン・キーの意味です）

VPプランナーを起動させる場合：A>VP←

スーパーカルクを起動させる場合：A>SC3←

### 3-2：PORT1用の入力データの作成（VPプランナー/スーパー・カルク3 共通）

実際の詳細なデータ入力加工方法は、VPプランナー或はスーパー・カルクのマニュアルを参照して下さい。ただし、PORT1用のデータを保管する際には、以下の注意に従ってください。

#### 3-2-③：データ保管の形式

VPプランナー或はスーパー・カルクの表全体のうち、下図に示すよう一部をPORT1入力用として保管します。

[表イメージ]

PORT1 エリア	
↑ 計算結果 基礎データ加工用 エリア	

基礎データ加工用エリアで必要な計算を行い、その結果をPORT1 エリアにセットします。

このPORT1入力用のエリアは以下に示すよう、作成するチャート毎に規定された形式を用いてください。

[PORT1 エリアの形式]

- ⇒セクター・チャート : 形式その1
- ⇒シェア・モーメンタム・チャート : 形式その2
- ⇒プロダクト・ポートフォリオ・チャート : 形式その3
- ⇒X-Y チャート (--->) : 形式その4
- ⇒X-Y チャート : 形式その5

※形式その1～5は当マニュアルの資料編に対応するチャートとの関連を示しておきます。

### 3-3：データの保存/VPプランナー

データの追加変更が出来るようまず表全体を保管します。

- [操作] / F ← ファイル操作の指定 ※←はリターン・キーの意味です  
S ← データ保管の指定  
ファイル名 ← ファイル名1  
[文字・数式] ← 全情報保管の指定

次にPORT1用エリアの保管を行います。

[操作] /F ← ファイル操作の指定  
X ← データの一部保管の指定  
ファイル名 ← ファイル名1  
※VPプランナーの場合、上で保管したファイルとはシステムが区別しますので特にファイル名を変える必要はありません

[標準] ← BASICで読み込み可能な保管形式を指定

データの保存が完了したらVPプランナーを終了させます。

[操作] /Q ← 終了コマンド

### 3-4: データの保存 & 変換 / スーパー・カルク・3

#### 3-4-①: データの保管

データの追加変更が出来るようまず表全体を保管します。

[操作] /S ← 保管のコマンド ※←はリターン・キーの意味です

ファイル名 ← ファイル名0

A ← 数式等を含む全情報を保管

次にPORT1用エリアの保管を行います。

[操作] /S ← 保管のコマンド

ファイル名 ← ファイル名1 ※ファイル名0と1は区別して下さい

P ← 表の一部を保管

V ← 数値のみを保管

A1: E? ← PORT1用エリアの範囲(?にはエリアの最終行を指定)

データの保存が完了したらスーパー・カルクを終了させます。

[操作] /Q ← 終了コマンド

Y ←

[補足: よく用いるスーパー・カルクのコマンド]

/A: データを並換える

/P: 文字・数式を保護する

/B: セルを空白にする

/Q: スーパーカルクを終了させる

/C: セルの内容を複写する

/R: セルの内容を複数のセルに複写する

/D: 行 or 列を削除する

/S: 作成した表を保管する

/E: セルの内容を変更する

/V: グラフを作成する

/F: セル幅・数値の表示形式を変更する

/W: 表を分割表示する

/I: 行 or 列を挿入する

/Z: 画面をクリアする

/L: 作成済の表を読み込む

※ESCキーの使い方をマスターすると

/O: 表の内容をプリンターに出力する

便利です(範囲指定の際)

### 3-4-⑥：データの変換

#### SDIの起動

スーパー・カルクを終了させると画面にはA>が表示されます。この状態で①のスーパー・カルク・システムディスクを外し、②のディスクをBドライブからAドライブに入替えます。その次にSDIとタイプし←するとSDIが起動します。

#### データ変換の実施

SDIが立上ると画面に下に示すようなメニューが表示され、システムから応答要求が来ますので次のような操作手順で応答してください

[操作] A ← スーパー・カルク・データからBASICデータへの変換  
ファイル名1 ← 変換元のファイル指定 (PORT1エリアの保管に用いた名称)  
← システムのほうで区別しますので何も指定はいりません  
X ← 作業終了

#### [SDIメニュー]

```
File Conversion Utility
-----
ファイル変換メニュー
A:CAL ファイル ---> CSV ファイル
B:CSV ファイル ---> CAL ファイル
C:CAL ファイル ---> SDI ファイル
D:SDI ファイル ---> CAL ファイル
E:SLK ファイル ---> CAL ファイル
F:PRN ファイル ---> CAL ファイル
X.終了
  選択項目 (A,B,C,D,E,F,X) の指定? A ←
  変化するファイル名: ファイル名1 ←
  変換後のファイル名: ←
```

### 3-5：PORT1の操作 (VPプリンター/スーパー・カルク3 共通)

#### PORT1の起動

SDIを終了させると画面にA>が表示されます。この状態でPORT1とタイプし←して下さい。PORT1が立上がり画面には次のような初期画面が表示されます。

```
CORPORATE STRATEGIC ANALYSIS
DATA PROCESSING FROM SC3(SC3) or VP(VP) ro MANUAL(OFF)
  ? SC3 ←
DATA DRIVE A OR B
  A ←
```

- [操作] SC3 ← スーパー・カルクからデータを入力する  
 VP ← VPプランナーからデータを入力する  
 A ← Aドライブからデータを読み込む

チャートの選択

初期操作が終了すると  
 画面にはチャートの選択  
 用メニューが表示されます

```

*** FUNCTION MENU ***
1. PRODUCT PORTFOLIO
2. SECTOR CHART
3. SHARE MOMENTUM CHART
4. X-Y CHART(----->)
5. X-Y CHART
*. WIDE OPTION
9. END ?
  
```

- [操作] 1 ← プロダクト・ポートフォリオ・チャート  
 2 ← セクター・チャート  
 3 ← シェア・モーメンタム・チャート  
 4 ← X-Y チャート (矢印表示)  
 5 ← X-Y チャート  
 9 ← 終了

1～5 または 9を選択してください。

また通常のチャートは画面中央に表示されますが使用するデータによってチャートの幅が不足する事があります。そのような場合には WIDE OPTION? と表示されたとき\*←して下さい。通常の場合には何も指定しないで下さい。

ファイルの指定

チャートの選択が終了するとファイル指定の画面が表示されますので次のように応答して下さい

[操作] Disk Drive Number A : (初期画面で指定したドライブNoが表示されます)

File Name ファイル名2←

※ファイル名を間違えますと FILE NOT FOUND(ファイルがない)ということでプログラムが終了してしまいます。この場合には3-5の始めからやり直してください。

チャートのコピー

チャートが画面に作成されると左上に COPY? と表示されます。プリンターに出力したい場合にはY←して下さい。出力が不要の場合にはそのまま←して下さい。チャート選択用のメニュー画面に戻ります。

\*\*\*\*\*

※サンプルデータ セクター・チャート : SECTOR  
 (②のディスク) シェア・モーメンタム・チャート : SHRMNTM  
 プロダクト・ポートフォリオ・チャート : PPM

《 4 : 直接データをPORT 1に入力する場合》

PORT 1の起動

②のデスクをディスク・ドライブAにセットスイッチを入れます。日付/時間について応答要求が来ますがそのまま←して下さい。画面にA>が表示されたらPORT 1とタイプし←して下さい。PORT 1が起動し5-⑥で示した初期画面が表示されますので次のように操作してください。

[操作] OFF← PORT 1にデータを直接入力する  
A ← Aドライブからデータを読み込む

チャートの選択

3-5を参照して下さい

データ入力

チャートの選択を終了すると次に示すようなデータ処理メニューが表示されます。

**** DATA PROCESSING MENU ****	
1 .SUPER CALC DATA LOADING	
2 .DATA INPUT (MANUAL)	⇒データの手入力
3 .DATA MAINTEMANCE (MANUAL)	⇒データの修正
4 .DATA ADD	⇒データの追加
5 .DATA SAVE	⇒データの保管
6 DATA LOAD	⇒データの読み込み
7 .PRINT DATA	⇒データのプリンター出力
8 .SPECIFY DATA RANGE	⇒作図範囲の指定
9 .END	⇒終了
SELECT FUNC.NO 1 - 9	

データの初期入力の場合には2を選択します。データを手入力する場合は行列に従って行います。

(例：プロダクト・ポートフォリオ・チャートの場合)

列→3

行 ↓ 製 品 の 数	(1,1)	(1,2)	(1,3)
	(2,1)	(2,2)	(2,3)
	・	・	・

製品の売上高  
売上成長率 (Y軸)  
マーケット・シェア (X軸)

データの入力は画面に応答要求が来ますのでそれに従って行ってください。

※漢字の入力はキーボードの CTRL と XFER のキーを同時に押すと漢字入力モードになり漢字入力出来ますが連文節変換は出来ません。

(漢字入力に関してはPC98使用マニュアルを参照してください)

#### データの保存

データ入力終了すると再度データ処理メニューに戻りますので、この段階で5を選択しデータの保管を実施して下さい。チャート作成のプロセスに進んだ後ではデータを保管することは出来ません。この手続によって保管されたデータ・ファイルは6を選択することによって再度読み込むことが出来ます。

チャート作成を実施する場合には9を選択して下さい。

※チャート作成後の操作はスーパー・カルクからの入力と同じです。



《 5 : 資料 (データ形式 / チャート・サンプル) 》

[データ形式その1 : セクター・チャート]

列→	A	← B →	← C →	← D →	← E →
行→ 1	① S / C 個人保険 (S 5 6 ~ 6 0) : ¥百万				
2	企業名	② マーケット・シェア	③ 売上成長率	④ 市場サイズ	
3	* -----				
4	日本	21.48%	8.15%	185,700	
5	第一	13.98%	7.91%	121,461	
6	住友	13.45%	8.57%	116,924	
7	明治	9.52%	8.11%	82,748	
.	.	.	.	.	
.	G	-----		8.03%	-----

① ⇒ チャートとの関係 : ① がチャートのタイトルとして表示されます

② がチャートの X 軸のタイトルとして表示されます

③ がチャートの Y 軸のタイトルとして表示されます

④ がチャートの円のサイズとして表示されます

⇒ 表 A 列の \* はコメント行を意味し PORT 1 ではこの行を読み飛ばします

G は市場の平均成長率を意味しチャートでは横の実線として表示されます

[データ形式その2 : シェア・モーメンタム・チャート]

列→	A	← B →	← C →	← D →	← E →
行→ 1	① S / M 日本団体 (S 5 6 ~ 6 0) : ¥1,000				
2	企業名	② 企業成長率	③ 売上成長率	④ 売上高	
3	* -----				
4	定期特約	22.00%	21.65%	30,720	
5	終身	22.00%	28.91%	41,207	
6	普通養老	20.69%	9.02%	274,839	
7	団体信用	19.00%	17.41%	1,753,996	
.	.	.	.	.	

① ⇒ チャートとの関係 : ① がチャートのタイトルとして表示されます

② がチャートの X 軸のタイトルとして表示されます

③ がチャートの Y 軸のタイトルとして表示されます

④ がチャートの円のサイズとして表示されます

⇒ 表 A 列の \* はコメント行を意味し PORT 1 ではこの行を読み飛ばします

[データ形式その3：プロダクト・ポートフォリオ・チャート]

列→	A	←B→	←C→	←D→	←E→
行→	1	① PPM日本団体 (S56~60) : ¥1,000			
	2	企業名	② マーケット・シェア	③ 成長率	④ 売上高
	3	* -----			
	4	定期特約	0.004%	25.00%	30,720
	5	終身	0.005%	25.00%	41,207
	6	普通養老	0.032%	20.69%	274,839
	7	団体信用	0.201%	19.00%	1,753,996
	.	.	.	.	.

①⇒チャートとの関係：①がチャートのタイトルとして表示されます

②がチャートのX軸のタイトルとして表示されます

③がチャートのY軸のタイトルとして表示されます

④がチャートの円のサイズとして表示されます

⇒表A列の\*はコメント行を意味しPORT1ではこの行を読み飛ばします

[データ形式その4：X-Y (---->)・チャート]

列→	A	←B→	←C→	←D→	←E→	
行→	1	① X-Y (---->)				
	2	商品名	② マーケット・シェア	③ 成長率	④ 売上高	
	3	* -----				
	4	商品A	56	0.040%	25.00%	30,720 ⑤
	5		60	0.105%	15.00%	41,207 ⑥
	6	商品B	56	0.032%	20.69%	274,839
	7		60	0.201%	19.00%	1,753,996
	.	.	.	.	.	

①⇒チャートとの関係：①がチャートのタイトルとして表示されます

②がチャートのX軸のタイトルとして表示されます

③がチャートのY軸のタイトルとして表示されます

④がチャートの円のサイズとして表示されます

⑤は矢印の始点/⑥は矢印の終点

⇒表A列の\*はコメント行を意味しPORT1ではこの行を読み飛ばします

⇒④の値が小数点以下の数値ばかりになりますとプログラムが正常に作動しない場合があります。この場合にはデータを加工し1以上の数値となるようにして下さい

[データ形式その5 : X-Y・チャート]

列→ A | ← B → | ← C → | ← D → | ← E →

行→ 1 ① X-Y・チャート

2 企業名 ②売上利益率 ③総資産回転率 ④総資産利益率

3 \* - - - - -

4 企業 A 4.05% 1.74 7.04%

5 企業 B 1.72% 1.51 2.61%

6 企業 C 1.32% 1.55 2.04%

・

①⇒チャートとの関係：①がチャートのタイトルとして表示されます

②がチャートのX軸のタイトルとして表示されます

③がチャートのY軸のタイトルとして表示されます

④がチャートの円のサイズとして表示されます

⇒表A列の\*はコメント行を意味しPORT1ではこの行を読み飛ばします

⇒④の値が小数点以下の数値ばかりになりますとプログラムが正常に作動しない場合があります。この場合にはデータを加工し1以上の数値となるようにして下さい

不 許 複 製

慶應義塾大学ビジネス・スクール

Contents Works Inc.